



はっとり 服部のりふみ

謹賀
新年

議員活動報告

vol.13
2024.1.3 発行

みなさんと一緒に、希望のもてる地域づくりを進めます！

後援会事務所（自宅）

〒509-7401 恵那市岩村町飯羽間 3126 番地

TEL/FAX 0573-43-3835

HP <http://ccm.enat.jp> E-mail norifumi@ccm.enat.jp

日々の活動は、フェイスブックをご覧ください！

<https://www.facebook.com/hattori.norifumi/>



新年、明けましておめでとうございます。議員となり、早くも四年目を迎えました。この間、コロナ対策に追われ生活も制限を余儀なくされてきましたが、ようやく昨年から通常の生活に戻りつつあることが実感できるようになりました。しかしながら、この約3年間の自粛の間に地域の活力が失われ、以前のような状態には戻れない課題が浮き彫りになってきています。このような状況ではありますが、皆さんと共に考え今年も希望のもてる地域づくりに邁進していきたく考えていますので、よろしくお願い申し上げます。

第5回議会定例会の内容

28日 議会本会議（議案上程、議人事）	議会発議による特別委員会の名称変更の議案が上程、可決され、その後、正副議長や各委員会の改選等の議会人事が行われました。執行部からは4件の人事案件と1件の条例改正が上程され、人事案件は全て同意され、条例改正は総務文教委員会へ付託されました。
総務文教委員会	条例改正1件が承認されました。
29日 議会本会議（採決、議案上程）	総務文教委員会に付託されていた条例改正1件が委員長報告のもと可決され、新たに19件の議案が上程され所管の常任委員会へ付託されました。
12月7日 総務文教委員会	5件が承認されました。（所管部分承認2件）
市民福祉委員会	8件が承認されました。（所管部分承認2件）
8日 経済建設委員会	10件が承認されました。（所管部分承認2件）
19日 議会本会議（一般質問）	猿渡南江、林貴光、佐々木透、山内敏敬、町野道明、秋山佳寛の6名が登壇
20日 議会本会議（一般質問、議案上程）、各常任委員会	安藤直実、伊藤勝彦、平林多津子の3名が登壇。 人事院勧告を受けて12議案が上程、直ちに常任委員会が開催され承認されました。
26日 議会本会議（採決）	常任委員会に付託されていた31件が委員長報告のもと、一件ごとに審議され、本会議において全て可決されました。

議決内容（主なもの）

条例の一部改正（6件）

【11月29日議決分1件】

- ・消防関係手数料徴収条例の一部改正
法令の一部改正に伴い条例の一部改正するもの。

【12月26日議決分5件】

- ・非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
行政不服審査会等の弁護士報酬額を2万円に改正するもの。
（以下の4つの一部改正は、法令の改正に伴うもの。）
- ・市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正
- ・行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
- ・国民健康保険条例の一部改正
- ・特定空家等審査会設置条例の一部改正

その他（6件）

- ・指定管理者の指定3件（道の駅上矢作ウ・フォーレ福寿の里、モンゴル村等、おさしま二葉こども園）
- ・市道路線の認定及び廃止3件（認定2路線、廃止4路線、行政区域を超える廃止）

補正予算（8件）

- ・一般会計補正予算
1. 原油価格・物価高騰等に係る事業 1億4,783万8千円
※令和6年1月～3月分の給食費の支援 6,459万1千円

2. 緊急対応を要する事業 4億4,336万8千円
※防災行政無線の更新及び修繕 2億2,409万2千円
※こども園改修 5,268万5千円
 3. 国・県支出金、寄付金を活用した事業 4億4,009万7千円
※河鹿橋修繕 2億7,000万円
 4. 災害復旧関連事業 3,000万円
 5. 前年度実績の確定、精算及び財源組替 685万9千円
 6. 基金を積み立てる事業 9億円
※公共施設整備基金への積み立て（積立後残高88億1,762万1千円）
 7. 人事異動による補正（4月異動等） △1億4,350万8千円
 8. 他会計の補正に伴う補正 △2,031万円
- ・特別会計補正予算
国民健康保険事業特別会計ほか2件
 - ・企業会計補正予算
水道事業会計ほか3件

追加議案（12件）

- ・人事院勧告に基づく特別職や議員及び一般職員等の条例改正など4件
- ・人事院勧告に基づき一般会計ほか全ての会計の補正8件で、一般会計では、人事院勧告以外に原油価格・物価高騰等に対する事業の追加補正や緊急対応を要する事業として、市制20周年記念地域公園整備費や山岡中学校校舎増築工事の実施設計に係る補正

※いずれの議案も賛成しました。詳細は、後日議会事務局から発行される「議会だより」をご覧ください。

その他の議員活動（主なもの）

10月7日 秋祭り神輿渡御行列（八幡神社）	10月24日 議会運営委員会	20日 議会全員協議会、議会だより編集会議
8日 //	26、27日 リニア対策特別委員会行政視察	24日 議会運営委員会
10日 恵那市社会福祉協議会評議員会	11月5日 いわむら城下おかげまつり	25日 全国発酵食品サミット開会式
14日 岩邑小学校運動会	9日 リニア対策特別委員会	27日 地域福祉懇談会
16日 古屋圭司名古屋フォーラム	12日 恵那市社会福祉大会	12月9日 まとい会記念品贈呈式
19日 地域自治区運営協議会	13日 地域自治区運営協議会	11日 地域縦ぐるみ街頭指導
20日 議会全員協議会	17日 瑞浪市議会との情報交換会	13日 議会だより編集会議
21日 岩村こども園運動会	20日 議会運営委員会	22日 地域自治区運営協議会

議会人事

議会の役職は、特別委員会を除き、申し合せや条例による規定により、一年任期とされています。12月議会は、この一年任期の改選期にあたるため、議会初日に改選等が行われました。議長に千藤安雄議員（再任）が、副議長に西尾努議員が選任され、以下に私の変更のあった部分をご紹介します。（下線部分が変更となった箇所です。）

- 常任委員会 市民福祉委員会委員長 → 総務文教委員会委員長
- 特別委員会 広報広聴特別委員会副委員長 → 広報広聴特別委員会委員、リニア中央新幹線推進特別委員会委員（変更なし）
- その他 議会運営委員会委員 → 議会運営委員会副委員長

一般質問

一般質問とは、議員が市の仕事全般について、現状やこれからの考えについての質問や政策提言を行うことができるもので、定例会のみで行われています。今回の定例会では、一般質問は行いませんでした。

会派「新政会」から執行部への提言・要望

会派とは、市政に対して同じ考えや意見を持っている市議会議員が集まり、自分たちの考えを効果的に市議会に反映させるため、グループをつくって活動しています。これを「会派」といい恵那市議会では、2人以上の所属議員を有し、議長に届け出のあったものを「会派」として認めています。私が所属する「新政会」は、12名で活動しており先進地への行政視察等の研修や勉強会を開催しながら、常に政策を練りその実現に向けた努力をしています。

前回の活動報告でお知らせしました「子育て支援に関する緊急提言」に続き、昨年の11月7日に新たに「政策提言・要望書」を取りまとめ提出しましたのでその内容を紹介します。

特に、1～3は最重点事項であり、具体的な内容まで紹介いたします。

1. 人口減少対策の推進（重要）

人口減少抑制のため、未来を担う若い世代に目を向けた結婚・出産・子育ての支援を充実し、同じ世代の希望が持てる地域とすることに主眼を置いた施策を進めること。

- ・子育て支援の充実を図り、出生率の向上に寄与する施策を積極的に展開すること。
- ・人口減少社会を見据え地域の担い手の確保と社会生活基盤の確保に向けた支援策の充実を図ること。
- ・若者向けの住宅並びに積極的な宅地開発の推進を図るとともに、空き家バンク制度の充実と定住補助金の効果的な支援、地域ニーズに合った支援策等、移住定住施策の充実を図ること。

2. 教育環境の充実（重要）

人口減少が続く中、選ばれる教育環境となるよう小中学校の児童生徒数の減少による小規模化への対応や教員の勤務環境等、教育環境の改善に積極的に取り組むこと。

- ・恵那南地区の中学校統合は、教育委員会で決定された方針に基づき着実に実行すること。
- ・長時間の時間外勤務が常態化している教員の働き方改革として、勤務様態の改善を図ることとともに、教員にとってやりがいのある教育環境の整備を進めること。
- ・恵那市の強みである「歴史・文化」を保存し、それを維持・継承する取組を学校教育に位置づけ、確実に児童生徒の意識に浸透していくような教育を推進していくこと。

3. 行財政改革の推進（重要）

人口減少による税収減や一本算定による地方交付税の減額など、今後の厳しい財政収入の見通しを踏まえて、さらなる行財政改革に努めること。

- ・公共施設の適正配置に向け、実効性のある公共施設等総合管理計画への早期見直しと、計画に基づく適正配置を着実に実行すること。
- ・総合計画の具体的事業の斬新な発想と組み立てにより、地方創生推進交付金等の積極的な活用を推進すること。
- ・各種基金の効果的な積み立てにより、持続可能な恵那市となるよう将来を見据えた財政運営を行うこと。

4. リニア開業を見据えた施策の推進

リニア中央新幹線開業が近づく中、恵那市の飛躍的な発展に繋がられるようリニアを生かしたまちづくりに本格的に取り組むこと。

5. 稼げる恵那市づくりの推進

人口増加を図っていくには、魅力があること、夢が持てること、雇用があること。すなわち稼げるところに人が集まってくる。農林商工観光すべての分野において稼げる仕組みづくりの構築を図り、活力ある恵那市づくりを推進すること。

6. 農林業の振興の推進

農業は恵那市の基幹産業であることと、森林面積が77%を占める森林施策等、恵那市の農業・林業に関する施策について積極的に取り組むこと。

7. 高齢化社会に向けた施策の推進

団塊の世代が75歳（後期高齢者）を迎える2025年問題及び現役1.5人が高齢者一人を支えることになる2040年問題等、今後予想される高齢者社会を見据え、高齢者の不安を払拭するとともに、安心して暮らすことできる恵那市にするよう必要な施策を推進すること。

8. モータースポーツによる地域振興の推進

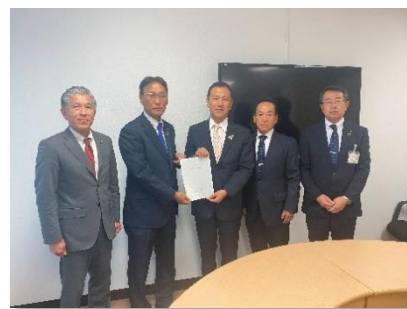
史上初の自治体運営によるWRC世界ラリー選手権の開催をはじめウィメンズラリー等、モータースポーツが、恵那市の活性化や観光誘客に繋がる等、地域振興が図られるような施策の推進をすること。

9. 生活道路の改良と適正なライフラインの整備と維持管理

市民生活の利便性・快適性に加え、交通安全・防災対策上道路行政は重要な施策であり、生活インフラであるライフラインの維持管理とともに適切に対応すること。

10. 防災対策の充実

近年の大規模災害の発生を見る中で市民の安心安全な生活の確保や災害から命を守る対策の推進を図ること。



鵜飼新政会会長から市長へ

議会を終えて

今定例会では、前記したとおり議会人事が初日に行なわれ、新たな体制で議会運営が行われました。新政会でも新たに山内敏敬議員が加わり12名体制となり、私は会計から幹事長の役職をいただきましたのでこちらもしっかりと取り組みたいと思います。

そのほか、今議会から反問権が常任委員会において試行的に導入されました。反問権とは、市長をはじめとする執行部（答弁者）が、質問の背景又は根拠など、不明点や疑義がある点を返すことで、論点、争点を明確にし、議論を深めることを目的とするもので、東濃地域では恵那市以外ではすでに実施されています。今後、本会議や一般質問等へも拡大されていくと思いますので、これまで以上に質問する場合は反問権を行使されないよう明確な質問とするよう心掛けたいと思います。

次号は、3月議会終了後に発行する予定です。皆様のご意見やご感想をお聞かせください。